

作成日 2019 年 11 月 29 日

改訂日 2025 年 2 月 3 日

安全データシート

1. 【 化学品及び会社情報 】

製品名	丸和エクシレル SE
供給者の会社名称	丸和バイオケミカル株式会社
住所	東京都千代田区神田須田町 2-19-23
担当部門	開発本部 登録・環境グループ
電話番号 / FAX	Tel: 03-5296-2313 Fax: 03-5296-2323
推奨用途	殺虫剤
使用上の制限	農薬登録以外の使用は不可
整理番号	24174-03

2. 【 危険有害性の要約 】

化学品の GHS 分類(分類 JIS)

健康有害性	皮膚感作性	区分 1
環境有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	警告
危険有害性情報	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
注意書き【安全対策】	粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 保護手袋を着用すること。
【応急措置】	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 漏出物を回収すること。
【保管】	なし
【廃棄】	内容物/容器は、承認された廃棄物処理設備で処分する。

3. 【 組成及び成分情報 】

化学物質・混合物の区別	混合物			
化学名又は一般名	シアントラニリプロール: 3-ブロモ-1-(3-クロロ-2-ピリジル)-4'-シアノ-2'- メチル-6'-(メチルカルバモイル)ピラゾール-5-カルボキサニリド			
成分及び含有量		化審法 No.	安衛法 No.	CAS No.
<有効成分>				
シアントラニリプロール	10.2%		8-(1)-3850	736994-63-1
<その他>				
水、界面活性剤 等	89.8%			

4. 【 応急措置 】

中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。

吸入した場合	化合物は危険有害であるとは思われないので、特別な措置は必要ではない。 吸い込んだ場合、新鮮な空気のところへ移動する。 大量に曝露した場合は、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服を脱がせる。皮膚を直ちに多量の水で15-20分間洗う。 中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。
眼に入った場合	目を開け水で15-20分間ゆっくり穏やかに洗う。コンタクトレンズを着用している場合は5分後に外し、その後も洗浄を続けること。 中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。
飲み込んだ場合	中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。 飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。 中毒情報センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐を誘引しない。 意識不明の人には口から何も与えないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 【 火災時の措置 】

適切な消火剤	水スプレー、泡、粉末消火剤、二酸化炭素(CO ₂)
使ってはならない消火剤	大型棒状の水(汚染のおそれ)
火災時の特有の危険有害性	この製品は可燃性ではない。
特有の消火方法	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。 保護具を使用する。
特有の対策	(小火災に)火災が広範囲である場合は、消火水がエリアの汚染を助長させてしまうので、可能であれば燃やし尽くす。 水を噴霧して容器/タンクを冷却する。

6. 【 漏出時の措置 】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	人々を避難させ、区域を完全に換気し、自給式呼吸器を使用する。 保護具を使用する。
環境に対する注意事項	物質が、下水、水路または低地域へ流入することを防止する。
封じ込め及び浄化の方法	おがくず、砂、油除去剤またはその他の吸収材で吸収させる。
及び機材	承認された容器に廃棄する。 大量の液体が流出した場合は、すぐにすくい上げるか、吸引機で吸い取る。
補足事項	現地の規定に従い、処分する。

7. 【 取扱い及び保管上の注意 】

取扱い	
技術的対策	休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。 汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。 局所排気・全体換気 情報なし
安全取扱注意事項	この製品は可燃性ではない。
接触回避	特に言及すべき物質は無し。
衛生対策	取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹸と水でよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

物質が内部に入った場合、衣服/PPE(個人用保護具)を直ちに脱ぐ。十分に洗い、清潔な衣服を着用する。

製品は子供やペットが近づけない場所に、元の容器のみに保存する。

保存している水、他の農薬、肥料、食料品または飼料を汚染しない。

家またはその周辺で使用または保管するものではない。

子どもの手の届かない場所におく。

一般的な保管に関するアドバイス:他の製品との混蔵には、特別の制限はなし。

保管温度:>0℃

情報なし

安全な容器包装材料

8.【ばく露防止及び保護措置】

許容濃度等

適用される職業暴露限界はなし。

生物学的限界値:情報なし

設備対策

特に、閉所では十分な換気の確保が必要。

保護具

呼吸用保護具

適切な許容限界を超えた濃度で、空気中の浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋

取扱後は手をよく洗うこと。

眼、顔面の保護具

この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

手袋、前掛け、長靴、カバーオールなどの保護衣を必要に応じて着用すること。

保護措置

製造者の個人用保護具(PPE)のクリーニング/メンテナンスの指示に従うこと。

もしそのような洗浄に関する指示が存在しない場合、洗剤と湯を使用すること。

他の洗濯物と分けて個人用保護具(PPE)を洗うこと。

9.【物理的及び化学的性質】

物理状態

液体

色

類白色

臭い

軽いフェノール臭

臭いの閾値:情報なし

融点/凝固点

融点/範囲:この混合物に関しては得られていない。

沸点又は初留点及び沸騰範囲

97℃

可燃性

この製品は可燃性ではない。

爆発下限界及び爆発上限界

情報なし

/可燃限界

引火点

沸点までは引火しない。

自然発火点

358℃

分解温度

情報なし

pH

5.6 (10g/L)

動粘性率

動粘度:情報なし

粘度 :454mPa.s

50rpm(回転毎分)

溶解度

水溶性:乳化可能

n-オクタノール/水分配係数

情報なし

(log値)

蒸気圧

情報なし

密度及び/又は相対密度	相対密度(比重):0.982
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
蒸発速度	情報なし
分子量	情報なし

10. 【安定性及び反応性】

反応性	情報なし
化学的安定性	常温及び通常の保存条件下で安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	氷結しないように保温する。
混触危険物質	特に言及すべき物質は無し。
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 【有害性情報】

急性毒性(経口)	複数種 LD ₅₀ :>5,000mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(経皮)	ラット LD ₅₀ :>5,000mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(吸入)	ラット LC ₅₀ (4h)(粉塵/ミスト):>2.4mg/L
皮膚腐食性/刺激性	ウサギ:軽度の皮膚への刺激
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	ウサギ:中等度の眼への刺激 刺激性物質には分類されていない。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性 情報なし 皮膚感受性 モルモット:皮膚に触れると感作を起すことがある。
生殖細胞変異原性*	細菌及び哺乳類の培養細胞での試験では、変異原性は見られなかった。 この物質は動物の遺伝子を損傷しないことを示唆する証拠がある。
発がん性*	ヒト発がん性としては分類できない。 動物実験では、発がん性の影響は見られなかった。
生殖毒性*	生殖毒性:生殖毒性なし 動物試験では、生殖毒性は示されなかった。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)*	催奇形性:母体に有毒となるレベル以上のレベルにおいて、胚-胎児の発生への影響が、動物試験により示された。 この物質または混合物は、特定標的臓器毒性、単回暴露に分類されない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	該当する場合、特定標的臓器に関する情報は、急性毒性及び/又は反復投与毒性データを参照すること。
誤えん有害性*	誤えん有害性に分類されない
その他*	反復投与毒性:以下の影響は、表示された使用条件下で予想されたものを著しく超える暴露レベルにおいて起こった。 経口/ラット28-90d 甲状腺への影響、臓器の重量変化、神経毒性に影響しない。 経皮/ラット28d 毒性学的に重大な影響は見られなかった。 経口/マウス90d 毒性学的に重大な影響は見られなかった。 経口/イヌ90d 血液中の化学成分の変化、肝臓への影響、動脈炎 経口/複数種28d 免疫系、毒性学的に重大な影響は見られなかった。 経口/ラット14d 毒性学的に重大な影響は見られなかった。 経口/イヌ365d 肝臓への影響、胆嚢への影響、血液中の化学成分の変化、動脈炎

吸入/ラット28d

毒性学的に重大な影響は見られなかった。

*シアントラニリプロールのデータ

12.【環境影響情報】

生態毒性

魚類

Oncorhynchus mykiss(ニジマス)LC₅₀(96h):>12.6mg/L*Lepomis macrochirus(ブルーギルサンフィッシュ)LC₅₀(96h):

>13mg/L*

甲殻類

Daphnia magna(オオミジンコ)EC₅₀(48h):0.232mg/L

Daphnia magna(オオミジンコ)NOEC(21d):0.00656mg/L*

藻類

Pseudokirchneriella subcapitata(緑藻)ErC₅₀(72h):>13mg/L*Lemna gibba(ウキクサ)ErC₅₀(72h):>12.1mg/L*

残留性/分解性

情報なし

生態蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報が十分でない(分類できない)

他の有害影響

環境への危険有害性:直接水に使用しない。漂流および流出物は、取り扱い領域に隣接した水中の水生生物に危険有害である可能性がある。

ミツバチに対して有毒である。蜂が処理地域に飛来する場合は、この製品を使用しないこと。

環境の予防措置に関する、取り扱いの追加説明は製品ラベルを参照する。

*シアントラニリプロールのデータ

13.【廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。

国及び地方自治体による規制に従う。この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。

空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。空の容器を再使用しない。

14.【輸送上の注意】

国連番号

3082

品名(国連輸送名)

環境有害物質(液体)(シアントラニリプロール)

国連分類

9(有害性物質)

容器等級

III

海洋汚染物質

該当(シアントラニリプロール)

国内規制がある場合の規制情報

航空法、船舶安全法

応急措置指針番号

171

15.【適用法令】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

農薬取締法

第24174号

化学物質排出把握管理促進法
(化管法)

シアントラニリプロール(第2種)

労働安全衛生法

該当なし

毒物及び劇物取締法

該当なし

消防法

該当なし

航空法
船舶安全法

その他の有害物
有害性物質

16. 【 SDSの作成と改訂に関する情報を含むその他の情報 】

緊急連絡先: 03-5962-9731 (9時～17時 土日祝を除く)

公益財団法人 日本中毒情報センター(事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 365日24時間対応

	一般市民専用電話 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1件2000円)
大阪	072-727-2499	072-726-9923
つくば	029-852-9999	029-851-9999

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合も、情報料1件につき2,000円を徴収します。

記載内容は十分な配慮に基づき作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは情報を提供するものであって、品質や安全性等に関していかなる保証もするものではありません。危険・有害性等の評価は必ずしも万全ではありませんので、取扱いには十分注意を払って下さい。また、注意事項は通常の実取扱いを対象としております。